



AZIMUTH PRO V2

ユーザーマニュアル

「構造が先。コンテキストが次。タイミングが最後。」

4つの自動スタイル + GANN

4レベルZigZag

合成HTFエンジン

確認済みエントリーアロー

シグナル品質管理

20カラーテーマ

MERKAVA LABS

Version 2.0 — 2026年4月

概要

Azimuth Pro V2は構造優先のトレーディングワークフローです — 4層のネストされたスイング構造、合成上位タイムフレームコンテキスト、そしてクローズドバー確認済みエントリーを1つのチャートで実現します。

市場はフラクタルです：同じ構造パターンがすべてのスケールで繰り返されます。Azimuth Proはこの階層をマッピングし、3つのタイムフレームを同時にフィルタリングします。価格がどこで反応しているか、より広い構造がアイデアを支持しているか、そして確認が存在するかを常に把握できます。

V2では従来の上位タイムフレームアプローチを独自の**合成エンジン**に置き換え — Meridian Proと同じアーキテクチャ — さらに適応型Signal Quality制御を備えた専用の**確認済みエントリーレイヤー**を追加しました。

V1からV2への変更点

項目	V1	V2
HTFコンテキスト	同期問題のあるレガシーMTF	合成エンジン、MTF問題なし
HTF解像度	固定制度ラダーのみ	制度 + 絶対 + 固定比率
確認済みアロー	利用不可	クローズドバー、永続化、復元可能
シグナル品質	利用不可	Standard / Strictモード
トレンドエンジン	Classicのみ	Classic + Meridianエンジンオプション
トレーディングスタイル	6スタイル (Positionを含む)	4スタイル (M1~W1)、GANN、Custom
ダッシュボード	V1パネル、18テーマ	V4新デザイン、20テーマ

チャートに表示される要素

- **ZigZagライン**：4レベル構造 (L1→L4)
- **移動平均線**：StepMA + VIDYAまたはEMA
- **Meridianリボン**：
適応型トレンド (オプション)
- **VWAP**：日次VWAP + AVWAP L3
- **カラーキャンドル**：強気 / 弱気 / 中立
- **ABCシグナル**：Early / Main / Late
- **確認済みアロー**：クローズドバータイミング
- **ダッシュボード**：3-TFバイアス + ATR/ADR

クイックスタート

2分以内でAzimuth Pro V2を起動しましょう。

インストール

MQL5 Marketで購入すると、Azimuth Proは自動的にインストールされます。手動でのファイルコピーは不要です。

- 1 **MetaTrader 5を開く**
- 2 **ナビゲーター → インジケーター → Market** — 購入済み製品からAzimuth Proを見つける
- 3 **任意のチャートにドラッグ** — 完了！AUTOモードがすべてを設定します。

デフォルト設定

設定	デフォルト	機能
Trading Style	AUTO	タイムフレームから最適なスタイルを検出
Trend Engine	Classic	StepMA + VIDYA (Smart MA) がデフォルト
Signal Quality	Standard	バランスの取れた確認フロー
Candle Mode	3 Colors	強気 (緑) / 弱気 (赤) / 中立 (グレー)
CTF Bias	WAVE	L3 ZigZag方向でシグナルをフィルター
MaxCalculationBars	9999	分析するバー数

💡 デフォルト設定はほとんどのタイムフレームで適切に機能します。上級者はH4~W1のスイングコンテキストを深めるためにMaxCalculationBarsを増やすことができます。

インストール後の最初のステップ

1. **ダッシュボードを確認** — CTF、HTF1、HTF2バイアスの一致を確認
2. **ABCシグナルを探す** — Mainシグナルが主要な構造セットアップです
3. **コンフルエンスを確認** — ++付きのシグナルが最も高い確率です
4. **AVWAP L3を活用** — これらのレベルは動的なサポート/レジスタンスとして機能します
5. **確認済みアローに注目** — クローズドバーのタイミング精緻化

推奨： Scalping M1~M5 | Intraday M15~M30 | Intraweek H1~H3 | Swing H4~W1

トレーディングスタイルプリセット

4つの自動検出スタイルに加えて、GANNとCUSTOMコントロール。

AUTOモード（推奨）

タイムフレーム	自動選択スタイル	一般的なホライズン
M1 – M5	SCALPING	数分～数時間
M15 – M30	INTRADAY	数時間～セッション終了まで
H1 – H3	INTRAWEEK	1～3日
H4 – W1	SWING	数日～数週間

スタイル特性

スタイル	感度	特徴	シグナル頻度
SCALPING	非常に高い	素早いエントリー、タイトな構造	高
INTRADAY	高い	セッションベース、バランス型	中～高
INTRAWEEK	中程度	複数日、広い構造	中
SWING	低い	大きな動き、忍耐が必要	低～中
GANN	サイクル調整	時間サイクル分析	変動

すべてのZigZag期間（L1～L4）を手動で設定するには、**CUSTOM**を選択してください。リサーチやエキゾチック商品向けです。

スタイル階層

各プリセットは自然なフラクタル整合性で調整された構造感度を使用します。確認済みアローレイヤーもスタイルごとに適応します — Scalpingではより寛容に、Swingではより厳選されます。

⚠ MN1に関する注意： 月足でのCTF運用はサポート対象のコアワークフローに含まれません。Azimuth Pro V2はM1～W1に最適化されています。

2つのエンジン、3つのチャートパーソナリティ

2つのトレンドエンジンモード。Classic内では2つのMA設定により3つの異なるワークフローが生まれます。

エンジンモード: Classic vs Meridian

Trend Engine Modeはコアとなるトレンドロジックを選択します。Classicは移動平均線を使用します。Meridianはモメンタムゲーティングとボラティリティ適応を備えた適応型トレンド状態モデルを使用します。

3つのチャートワークフロー

ワークフロー	エンジン	MA設定	特徴
Classic + Smart MA	Classic	StepMA ON、VIDYA ON (デフォルト)	最も反動的
Classic + EMA	Classic	StepMA OFF、VIDYA OFF	馴染みのあるクロスオーバー
Meridian	Meridian	MA非表示、リボンアクティブ	最も安定的

Smart MAの詳細

ATR適応型StepMA (Fast MA)はATRに基づいてステップサイズを調整します。高ボラティリティ = ノイズをフィルターする大きなステップ。低ボラティリティ = 微妙な変化を捉える小さなステップ。ステップレベルは動的なS/Rとして機能します。

モメンタム適応型VIDYA (Slow MA)はChande Momentumを使用してスムージングを適応させます。トレンド中 = 速い応答。レンジ中 = より多くのスムージング。組み合わせにより、固定EMAと比較してホイップソーが減少します。

どれを使うべきか

求める特性	選択
ボラティリティシフトへの最大応答性	Classic + Smart MA (デフォルト)
標準MAによる馴染みのあるチャート感覚	Classic + EMA
レンジ相場での保守的で安定した読み取り	Meridian

AutoConfigMA = true (デフォルト) の場合、MA パラメーターは資産クラスごとに自動最適化されます。Classicモードのみに適用されます。

💡 3つのワークフローすべてが同じ構造 (ZigZag、AVWAP、ABC、確認済みアロー) を使用します。変わるのはトレンド判定とキャンドルカラーリングのみです。

カラーキャンドル

インテリジェントなキャンドルカラーリングによる市場バイアスの即座のビジュアルフィードバック。

Classicモードでは、カラーはMA とAVWAPに対する価格の位置を反映します。Meridianモードでは、カラーは適応型トレンド状態に直接従い、より保守的なトランジションを生み出します。

カラー	条件	解釈
強気 (緑)	トレンド状態が強気	強い上昇モメンタム
弱気 (赤)	トレンド状態が弱気	強い下降モメンタム
中立 (グレー)	混合 / 移行中	コンソリデーション — 待機

キャンドルモードオプション

モード	説明	最適な用途
Off	チャートのデフォルトキャンドル	標準ビュー
3 Colors Candles	強気 / 弱気 / 中立	ほとんどのトレーダー向け (デフォルト)
2 Colors Candles	強気 / 弱気のみ	明確な方向性バイアス
3 Colors Bars	OHLCバー、3色	バーチャートスタイル
2 Colors Bars	OHLCバー、2色	シンプルなバービュー

カラートランジションはトレンド変化の可能性を示します — 確認済みアローに注目してください。グレーのキャンドルはモメンタムの減衰を示します — ストップを引き締めるか、明確になるまで待機してください。

Meridianに関する注意

Meridianエンジン使用時、キャンドルカラーはMeridian状態に従います。これによりカラー変化が少なくなり、確認済みアローもMeridianモードではより厳選的に動作します。

合成HTFエンジン

V2のアーキテクチャ基盤。レガシーMTF動作を、上位タイムフレームコンテキストへのよりクリーンで安定したアプローチに置き換えます。

合成エンジンの機能

従来のMTFインジケータは、ブローカー提供の上位タイムフレームからデータを要求し、チャートに結合します。これにより同期問題、リペイントリスク、ブローカー間での一貫性のない動作が発生します。

Azimuth Pro V2は**独自の合成アーキテクチャ**を使用します — Meridian Proと同じエンジン — 内部で上位タイムフレーム構造を構築します。結果として、よりクリーンなコンテキスト、安定したライブ動作、リロードやタイムフレーム変更時のスムーズな動作が実現されます。

3タイムフレーム構造

レイヤー	役割	例 (M15)	例 (H1)
CTF	チャート — アクティブセットアップ	M15	H1
HTF1	第1コンテキストフィルター	H1	H4
HTF2	マクロ構造フィルター	H4	D1

バイアスフィルターモード

モード	フィルターレベル	説明
NONE	フィルターなし	HTFに関係なくすべてのシグナルを表示
WAVE	L3 ZigZag	ウェーブ構造の方向でフィルター
CYCLE	L3 + L4	最も厳格 — メジャートレンドに一致するもののみ

アラートコンフルエンス

- (サフィックスなし) : CTFシグナルのみ — 慎重に使用
- + : CTF + HTF1が一致 — 良い確率
- ++ : CTF + HTF1 + HTF2 — **最高の確率**

⚠ CTFバイアスをNONEに設定しないでください。 現在のスイング方向に反するシグナルが表示されません。CTFでは少なくともWAVEを使用してください。

合成HTF — 推奨設定

アプローチ	CTF	HTF1	HTF2	シグナル量
アグレッシブ	WAVE	NONE	NONE	多
バランス (デフォルト)	WAVE	WAVE	NONE	中
コンサバティブ	WAVE	WAVE	WAVE	少
ウルトラストリクト	CYCLE	CYCLE	CYCLE	非常に少

安定性に加えて、合成アーキテクチャは**固定比率タイムフレームカスケード**を実現します — 任意のブローカーTFジャンプではなく、チャートタイムフレームの一貫した乗数です。フラクタルジオメトリはタイムフレーム間で一定に保たれます。

固定比率が重要な理由

従来のMTFでは、チャートTFを切り替えるとレイヤー間の構造的関係が変化します。固定比率はこれを排除します：x3は常にHTF1が3倍、HTF2が9倍を意味します。フラクタルジオメトリは一定に保たれます。

💡 デフォルトモード (Institutional Ladder) はほとんどのトレーダーに適しています。Fixed Ratio Cascadeはタイムフレーム間の構造的な一貫性を求める上級者向けです。

HTF解像度モード

Azimuth Proが構造コンテキスト用の上位タイムフレームを選択する3つの方法。

Institutional Ladder（デフォルト）

自動モード。従来の制度的タイムフレームステップに基づいてHTF1とHTF2を選択します。最もシンプルなオプションで、ほとんどのトレーダーに適しています。

チャートTF	HTF1	HTF2
M1 – M5	M15 – M30	H1 – H4
M15 – M30	H1	H4 – D1
H1 – H3	H4	D1
H4 – W1	D1	W1

Absolute TF

完全な手動制御。入力でHTF1とHTF2を正確に選択します。特定のマルチタイムフレーム仮説がある場合に使用します。

Fixed Ratio Cascade

合成エンジンによって独占的に実現される最も強力なモード。一貫した乗数（x2、x3、x4、またはx6）を選択します。HTF1 = TF × 比率。HTF2 = HTF1 × 比率。

TF	x2	x3	x4	x6
M5	M10 → M20	M15 → M45*	M20 → H1:20*	M30 → H3
M15	M30 → H1	M45* → H2:15*	H1 → H4	H1:30* → H9*
H1	H2 → H4	H3 → H9*	H4 → H16*	H6 → H36*
H4	H8 → H16*	H12 → H36*	H16* → H64*	D1 → D6*

* ブローカーのネイティブTFとして存在しない合成タイムフレーム — 合成エンジンでのみ実現可能。

⚠ MaxCalculationBars： 低TFでの高い比率にはより多くのバーが必要です。デフォルト9999はほとんどの組み合わせをカバーします。HTF行が「利用不可」と表示される場合は増やしてください。

ABCパターンシグナル

ZigZagレベル全体にわたる構造パターン検出、サイクルタイミングによる分類。

タイプ	ZigZagレベル	タイミング	リスク/リワード
Early Cycle	L3 → L1	動きの始まり	高リスク、大リワード
Main Trend	L2 → L3	確認済みトレンド	バランス型 — 最も信頼性が高い
Late Cycle	L1 → L2	動きの後半	コンテキスト依存

Early Cycle：新しい動きの可能性。高リスク — タイトなストップ、小さいサイズで。++コンフルエンスとの併用が最適。

Main Trend：コアシグナル。トレンドフォローに最も信頼性が高い。主要な構造セットアップ。

Late Cycle：動きが消耗している可能性。エグジット警告。デフォルトでは無効。

セットアップから確認へ

ABCシグナルは構造セットアップです — ステップ1。確認済みエントリーアローレイヤーはステップ4を提供します：一度書き込まれ、通常のチャートライフサイクルイベント後も一貫して復元されるクローズドバーのタイミング精緻化です。

⚠ ライブ構造：ABCシグナルはZigZagスイングにアンカーされ、構造が進化するにつれて動的に更新されます。これはリアルタイム分析であり、バックテストシステムではありません。

CTF BiasがWAVEまたはCYCLEの場合：強気バイアス → BUYシグナルのみ。弱気バイアス → SELLシグナルのみ。

確認済みエントリーアロー

V2の実行レイヤー。構造コンテキストが好ましい状態で、クローズドバーによる適応型確認でタイミングを精緻化し、通常のチャートライフサイクルイベント後も一貫して復元されます。

確認済みアローとは

ABCセットアップシグナルとは別のレイヤーです。ABCパターンが形成され、適応型確認ロジックがクローズドバーで方向を検証すると、次のバーのオープンにアローが表示されます。一度配置されると、アローは**永続化され、リフレッシュ、タイムフレーム変更、インジケータ再読み込み、ターミナル再起動後も一貫して復元されるよう設計されています。**

⚠ これらは独立した売買シグナルではありません。構造コンテキストとHTFアライメントのない確認済みアローは、チャート上の単なるドットです。規律あるワークフローのステップ4であり、ステップ1ではありません。

確認の仕組み

- 1 ABCセットアップが出現 — 構造的機会を特定、確認レイヤーが待機状態に。
- 2 キャンドルカラーが方向を確認 — トレンドエンジンがアライメントを検証。
- 3 適応型フィルターが検証 — モメンタムとボリュームを適応型閾値でチェック。
- 4 クローズドバーにアローを記録 — 確認イベントレイヤーによって永続化・復元されます。

ABCセットアップシグナル vs 確認済みアロー

側面	ABCセットアップシグナル	確認済みアロー
目的	構造的機会をマッピング	実行タイミングを精緻化
動作	ライブ構造に応じて調整	一度記録され、永続化・復元される
リペイント	最後のスイングは進化可能（正常）	クローズドバー — 記録後に安定し、保存状態から復元される
役割	ステップ1 — 「どこで？」	ステップ4 — 「いつ？」

確認済みアロー — 動作とワークフロー

適応型動作

確認は3つの次元で適応します：

- **トレーディングスタイル**：Scalpingではより寛容、Swingではより厳選的。
- **商品クラス**：暗号通貨と株式ではボリュームロジックが有効化、FXと貴金属では無効化。
- **セットアップタイプ**：Main Trendセットアップは緩和された閾値を適用。Late Cycleセットアップはより厳格にフィルター。

待機期限

待機状態のセットアップは、制限されたバー数後に期限切れになります（スタイルとセットアップタイプにより異なる）。これにより、現在の構造を反映しなくなった古いセットアップが遅延確認をトリガーすることを防ぎます。

5ステップワークフロー

- 1 **構造を読む** — 4レベルのスイング階層は何を示していますか？
- 2 **HTFコンテキストを確認** — CTF、HTF1、HTF2は一致していますか？++を探す。
- 3 **位置を評価** — 価格はAVWAPまたはHTF構造ラインにありますか？
- 4 **確認済みアローを待つ** — クローズドバーでの適応型検証。
- 5 **規律を持って実行** — リスク管理。ATR%/ADR%でエグジット。

💡 確認済みアローにはCandle Color Modeが有効である必要があります。確認はキャンドルカラー状態の遷移に基づいているためです。

シグナル品質

確認済みアローレイヤーの厳選度を制御する2つの確認モード。

Standardモード（デフォルト）

バランスの取れた確認フロー。ほとんどの商品で適切な数の確認済みアローが生成されます。推奨される出発点です。

Strictモード

より厳選的。キャンドル品質（実体サイズ、終値位置）のフィルタリングとより厳格なモメンタムが追加されます。より少ないが、よりクリーンな確認。

側面	Standard	Strict
頻度	多くのシグナル	より少なく、より厳選的
キャンドル品質	最小限のフィルタリング	決定的な実体を要求
最適な用途	ほとんどのワークフロー	ボラタイル/高速チャート、暗号通貨
リスク	レンジ中にノイズの可能性	静かな市場でセットアップを見逃す可能性

違いはより速く、よりボラタイルなチャートで最も顕著です。暗号通貨ではStrictがカウントを大幅に減少させます。穏やかなFXでは差はより微妙です。

推奨アプローチ

Standardから始めてください。ワークフローを学びましょう。次にボラタイルな商品でStrictを試して、追加の厳選性があなたの許容範囲に合うか確認してください。

💡 Signal QualityはPro限定機能です。無料版のAzimuthは適応型動作や品質管理なしの固定閾値を使用します。

ATR% & ADR% ボラティリティガイド

2つの指標：「今日トレードすべきか？」と「今エグジットすべきか？」

ATR% — レンジ消費率

(本日のレンジ) ÷ ATR(14) × 100

ATR%	カラー	意味	アクション
<70%	緑	レンジに余裕あり	エントリー — 動く余地あり
70-100%	グレー	通常	注意 — サイズを縮小
>100%	赤	消耗	回避 / エグジット

ADR% — 方向バイアス

(価格 - 始値) ÷ ADR × 100

ADR%	カラー	意味	アクション
≥ +15%	緑	強気プッシュ	BUYバイアスを確認
±15%	グレー	中立	明確な方向性なし
≤ -15%	赤	弱気プッシュ	SELLバイアスを確認

エントリー / バイアス

ATR% 緑 = GO | 赤 = NO

ADR% 緑 = ロング | 赤 = ショート

エグジット

ATR% 赤 = 利確

ADR% ±80% = ポジション決済

💡 最良のエントリー条件：ATR% 緑 + ADR% 中立 + ABC ++ + 確認済みアローあり。

ダッシュボード、AVWAP & HTF構造

新デザインダッシュボード (V4)

要素	説明	用途
CTF / HTF1 / HTF2	Cycle/Wave状態を持つ3-TFバイアス	構造アライメント
Trend + Engine	トレンド状態とエンジンモード	方向性コンテキスト
Structure Mode	アクティブなHTF解像度モード	コンテキストの透明性
Last Signal	最新のABC + 確認ステータス	クイックリファレンス
ATR% / ADR%	レンジと方向バイアス	エントリー/エグジットフィルター
Spread / Timer / Price	ライブスプレッド、キャンドルカウントダウン、価格	エントリータイミング

ダッシュボードはドラッグ可能で最小化可能です。DashboardPosX/Y入力で位置を調整できます。

AVWAP (アンカードVWAP)

レベル	アンカー	用途
AVWAP L2	L2スイング	短期S/R (デフォルトではオフ)
AVWAP L3	L3スイング	主要S/R — キーレベル
Daily VWAP	セッション開始	制度的ベンチマーク

上昇トレンド： AVWAP = サポート — 押し目買い | 下降トレンド： AVWAP = レジスタンス — 戻り売り

HTF構造ライン

ShowHTFStructure = trueの場合、上位タイムフレームのスイングレベルがチャートに投影されます。重複するゾーンは自動的にマージされます。V2では、これらは合成エンジンから提供されます。

Quantum Color Themes & アラート

Quantum、Obsidian、Sahara、Pharaoh、Amethyst、Auroraなど、**20のプロフェッショナルテーマ**。アラートはポップアップ、サウンド、プッシュ、メールをサポートし、+ / ++コンフルエンス表記に対応。

フラクタルリーディングワークフロー

市場を個別のキャンドルではなく、スイングの階層として読み取る。

レイヤー	役割	注目ポイント
HTF2	マクロサイクルアライメント	大きなトレンドはこの方向をサポートしているか？
HTF1	構造トレンド方向	第1上位コンテキストは一致しているか？
CTF	アクティブセットアップとエントリー	意味のある位置にABCパターンがあるか？

リーディングの順序

- 1 **トップダウンコンテキスト**： HTF2 → HTF1。矛盾する場合は注意。
- 2 **CTFの機会**： AVWAPまたはHTF構造ラインにABCセットアップがあるか？
- 3 **コンフルエンス**： ダッシュボードに++が表示されているか？3つのレイヤーすべてが一致。
- 4 **確認**： 確認済みアローが出現したか？

レイヤーが不一致の場合

- **CTF + HTF1が強気、HTF2が弱気**： カウンタートレンドラリー。サイズ縮小、タイトなストップ。
- **CTFが強気、HTF1が弱気**： プルバックの可能性。高リスク。
- **すべて一致**： 最強のコンテキスト。標準ポジションサイズ。

重要な原則

目標は、ローカルの機会がより広い階層と一致しているかどうかを理解し、それに応じてリスクサイズを調整することです。

Merkavaエコシステム

Azimuth Proは「どこに」を回答します。Oracleは「するべきか」を回答します。それぞれ独自のチャートまたはサブウィンドウで動作し、補完し合い、重複しません。

インジケータ	回答する質問	チャート配置
Azimuth Pro	サイクルのどこにいるか？	メインチャート — 構造 + エントリ
The Oracle / The Oracle Pro	マルチインジケータの合意が確認されるか？	サブウィンドウ — バイアスフィルター
Meridian Pro	適応型トレンド状態は何か？	別チャート — トレンドコンテキスト

各インジケータは異なる分析レイヤーを提供します。同じチャートに重ねるのではなく、並べて使用するよう設計されています。

Azimuth Pro + Oracle ワークフロー

- 1 **ダッシュボード**：ATR% 緑 + 3-TFバイアスが一致 (++)
- 2 **Azimuth**：AVWAP L3またはHTF構造ラインでのABCシグナル
- 3 **確認済みアロー**：クローズドバー確認がタイミングを検証
- 4 **Oracle / Oracle Pro (オプション)**：サブウィンドウでコンセンサスを確認 — 5/7+がバイアスを確認
- 5 **エグジット**：ATR% 赤、ADR% 極端値、または反対の構造

なぜこれが機能するか

ほとんどのトレーダーは方向またはタイミングを知っています — 両方を知ることは稀です。Azimuth Proは構造と位置を提供します。確認済みアローがタイミングを精緻化します。Oracle / Oracle Proは独自のサブウィンドウで、独立したバイアスフィルターとしてマルチインジケータコンセンサスを追加します。

トレードセットアップ例

3タイムフレームアライメントと確認済みエントリーによるMain Trend買いセットアップ。

セットアップチェックリスト

✓	要素	確認事項
✓	ATR%	緑 (<70%) — レンジに余裕あり
✓	ダッシュボード	CTF、HTF1、HTF2が一致 (++)
✓	位置	価格がAVWAP L3またはHTF構造ラインに位置
✓	セットアップ	Main Trend ABCシグナルあり
✓	トレンド	キャンドルカラーが方向と一致
✓	確認	クローズドバー確認アローあり

エントリー、ストップ & エグジット

エントリー

確認済みアロー後。ATRのストップまでの距離に基づいてサイズ調整。

ストップ

ロング：L2スイングローの下
ショート：L2スイングハイの上

⚠ **エグジット**：新しい反対スイング、キャンドルが中立/反対に転換、価格がStepMA/Meridianリボンをブレイク、またはATR%/ADR%が極端値。

💡 確認済みアローは最後のステップであり、最初のステップではありません。上記のすべてが緑なら、インジケーターが提供できる最強の構造的サポートを持つセットアップです。

EA統合ガイド

Azimuth Pro V2はインジケーターバッファーを通じて**Expert Advisor**統合のための分析を公開しています。

基本的なiCustomコール

```
int handle = iCustom(_Symbol, PERIOD_CURRENT, "Azimuth Pro");
double confirmedBuy = CopyBufferValue(handle, 32, 1); // bar[1] - クローズドバー
double confirmedSell = CopyBufferValue(handle, 33, 1); // bar[1] - クローズドバー
if(confirmedBuy > 0) { /* 確認済み買いセットアップ */ }
if(confirmedSell > 0) { /* 確認済み売りセットアップ */ }
```

主要バッファーリファレンス

バッファー	内容	値
5, 7	AVWAP L3 上昇/下降	価格レベル
8	Daily VWAP	価格レベル
9, 10	Fast MA / Slow MA	価格レベル
15	キャンドルカラー	0=中立、1=強気、2=弱気
16-23	L1-L4 スイングハイ/ロー	価格レベル (ペア)
24-25	Main BUY/SELL	価格レベル
26-29	Early/Late BUY/SELL	価格レベル
30-31	Meridianリボン 上限/下限	価格レベル
32-33	確認済み BUY/SELL	価格レベル (V2)

⚠ EA開発者向け： 確認済みアローは常に**bar[1]** (シフト1) から読み取ってください。bar[0]からではありません。確認済みアローはクローズドバーでのみ書き込まれます — bar[0]はライブトレーディング中は空になります。ABCシグナルは動的に更新されます。確認済みアロー (32-33) は安定したクローズドバーレイヤーです — EAロジックはこれらを基に構築してください。

💡 バッファー15 (キャンドルカラー) はクイックトレンドフィルタリングに使用：1 = 強気、2 = 弱気。32/33と組み合わせて確認済みのみのエントリーに。

お問い合わせ & サポート

Azimuth Pro V2での成功をサポートいたします。

Merkava Labs

- 🌐 ウェブサイト: www.merkavalabs.com
- 📖 ドキュメント: merkavalabs.com/docs
- 💬 サポート: **MQL5製品コメントとプライベートメッセージ**

サポートリソース

リソース	説明
製品ページ	アップデート、変更履歴、スクリーンショット
コメント	コミュニティQ&A、ヒント
プライベートメッセージ	MQL5経由の直接テクニカルサポート
ユーザーマニュアル	merkavalabs.com/docs で7言語対応

サポートに連絡する前に

- MQL5 Marketから**最新バージョン**であることを確認
- MaxCalculationBars**を確認 — HTF行が利用不可の場合は増加
- 確認済みアローが表示されない場合、**Candle Color Mode**がオンであることを確認
- まず**デモ口座**でテスト

リスク免責事項: トレーディングには大きな損失リスクが伴います。Azimuth Proはテクニカル分析ツールであり、金融アドバイスではありません。確認済みエントリーアローは独立した売買指示ではなく、構造コンテキストとマルチタイムフレームアライメントが必要です。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。常に適切なリスク管理を行ってください。

© 2026 Merkava Labs. All rights reserved.

Version 2.0 — 2026年4月